

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等		
市町村名	辰野町	ふりがな 箇所名	みやとこ 宮所	事業年度 (完了年度は見込み)	23年度～			26年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	重力式擁壁工 L=380m 落石防護柵工 L=380m				H22年度末事業 進捗率	0%		
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%		
	H23年度実施内容	測量・調査・設計 1式				用地補償費ベース	0%		
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残			
	事業費計(千円)	200,000	0	0	10,500	200,000			
	国庫支出金	95,000	0	0	4,988	95,000			
財源内訳	その他	10,000	0	0	525	10,000			
	県債	85,000	0	0	4,000	85,000			
	一般財源	10,000	0	0	988	10,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価			部 ランク	評点	政策評価課 ランク	評点
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	20戸以上	10～19戸	10戸未満	A	7	A	7
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし		6		6
		保全対象に援護者施設があるか	重要施設あり	一般施設あり	なし		3		3
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし			1		1
		小 計							17
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去10年に1回以上	災害履歴地	なし	A	8	A	8
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		3		3
		防災計画上の位置づけ	位置づけあり	位置づけなし			2		2
	小 計						13		13
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C3.0以上	B/C1.0以上3.0未満	B/C1.0未満	A	14	A	14
		早期発現度	5年未満	5年～10年未満	10年以上		6		6
		小 計							20
	緊急性 (25)	斜面の高さ	30m以上	10m以上30m未満	5m以上10m未満	A	5	A	5
		斜面平均勾配	45°以上	40°以上45°未満	30°以上40°未満		4		4
地質状況		崩積土、火山砕屑物、強風化岩	段丘堆積物	軟岩・その他	4		4		
斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)		あり	なし		0		0		
植生の状況		不良	普通	良好	2		2		
保全対象の位置		がけ下にある	がけ上にある		5		5		
小 計						20		20	
計画 熟度 (20)	地元の協力	用地等の協力が得られる	用地等の協力が概ね得られる	協力が現時点では得られていない	A	7	A	7	
	地域からの要望	高い	それほど高くない			10		10	
	小 計							17	
費用対効果(B/C)	6.98	評 価 の 合 計			A	87	A	87	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	高さ136mのがけ下に人家18戸の保全対象があり、中でも老人養護施設グレイスフル辰野は収容人数30人を数え、居宅型介護収容人数も9人を数えるなど、重要な施設となっているが、背後法面は長大で一部に風化露頭した岩石が見られるため、地元から対策の要望が上がっている。							
	地域からの要望経緯	平成22年4月15日、役場よりがけ対策の要望がなされる。							
	事業説明等の経緯	特になし。							
	環境・景観への配慮項目	崖地末端部に擁壁工とロックフェンスを設置し、既存の健全な立木を残し、環境及び景観に配慮する予定。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	地元は対策に対しての関心が高いため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。(地域の防災活動の状況、維持管理の協力体制について記入)								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	保全対象には人家18戸、災害時要援護者施設等がある。斜面は小崩壊が発生するなど、早期に対策を行う必要である。			政策評価課 意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。				